

第21回コミュニティワールドカップ in 八千代を終えて

昨年に引き続き、実行委員長を務めさせていただきましたが、選手に大きな怪我もなく、また、大会も滞りなく終了することができ、ほっとしております。今回も北は北海道、南は沖縄、そして大韓民国より仁川市広域選抜に参加していただき、各会場で熱戦が繰り広げられました。特に、陸前高田市立第一中学校及びいわきトレセンU-14に参加していただくことが決まってからは、「共生」をテーマにサッカーを通じて我々ができることは何か、選手の皆さんに思いっきりサッカーに打ち込んでもらうために必要なことは何かを考えていくこととなりました。その過程で、多くの方々のご協力なしには達成できないことも出てきましたが、皆様のお力添えの下、1つひとつ課題を解決していくことができました。今はただただ感謝の気持ちで一杯です。八千代市サッカー協会を代表しまして、厚く御礼申し上げます。

また、大会後、様々なチームのキャプテンと話す機会もあり、皆さん充実した大会となった様です。中でも、「大会当初は、ただ試合をしている様な気持ちでしたが、日を重ねるごとに、どれだけ多くの方々に支えられているか分かり、皆さんのことを考えてプレーするようになりました」と言ってくれた選手がいました。これを聞いた瞬間、テーマとして掲げた「共生」が間違いでなかったことを実感することができました。

今大会で得た成果と課題、そして何よりも皆様とのつながりを大切にして、来年度以降に生かしていきたいと考えております。これまでのご協力に感謝するとともに、今後ともより一層のご協力をいただければ幸いです。

大会実行委員長 鎌田 裕平